

住江織物株式会社

Suminoe Textile Co., Ltd.

証券コード：3501

Suminoe Report



第122期 報 告 書

平成22年6月1日 ▶ 平成23年5月31日

ごあいさつ

株主のみなさまには、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびの東日本大震災により被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

みなさまの安全と被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、このたび当社第122期（平成22年6月1日から平成23年5月31日まで）の決算を終えましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

平成23年8月

取締役社長 吉川 一三



業績のご報告

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済政策によって緩やかな景気回復が続いていたものの、3月11日に発生した東日本大震災によって甚大な人的、物的被害に見舞われ、また、製造業におけるサプライチェーンの分断によって生産の停止が連鎖し、企業業績や雇用環境の悪化など、深刻な影響を受けました。

インテリア市場、ならびに自動車内装材市場もその影響が大きく、当社においても、震災によって第4四半期の売上高と収益が急激に悪化しました。その結果、当社グループの連結業績は、売上高708億9千1百万円（前期比1.2%増）、営業利益11億8千4百万円（同34.4%減）、経常利益15億9千4百万円（同27.3%減）、当期純利益6億6千2百万円（同53.1%減）となりました。

■ 事業セグメントの概況

● インテリア事業

オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーベットの、東日本大震災の影響でリニューアル工事中止や新築工事の延期が発生し、また一般家庭向けカーベットのラグマットも、個人消費の低迷に拍車が掛かり、ともに前期を下回りました。カーテンでは、主力の「mode S (モードエス) VOL.5」と既製カーテンの新シリーズ「デザインライフ」が順調に売上高を伸ばし、コントラクトカーテン「Face Vol.16+ (プラス)」が医療・福祉・教育施設で引き続き受注を増やした結果、売上高は前期をわずかに上回りました。壁紙では、「空気を洗う壁紙® TF-V」などの機能性商品が売上高を伸ばしましたが、全体的には前期をわずかに下回りました。営業利益は、販管費の徹底的な削減を行いました、原材料の高騰と販売価格の企業間競争の激化により、前期を下回りました。

以上の結果、インテリア事業では、売上高326億1千7百万円(前期比0.4%減)、営業利益5億7千8百万円(同38.2%減)となりました。

● 自動車・車両内装事業

自動車関連では、エコカー補助金制度の終了や、東日本大震災の影響による自動車生産の停止に伴い、当社の自動車向けカーベットの事業とシート表皮材事業のスミノエ テイジンテクノ株式会社は、売上高、営業利益ともに計画を下回りました。海外では、米国子会社STA (Suminoe Textile of America Corporation) が売上高、営業利益ともに前期を上回り、連結業績に寄与しました。中国では、SPM (住江互太 (広州) 汽車繊維製品有限公司) が売上高、営業利益ともに前期を下回りました。

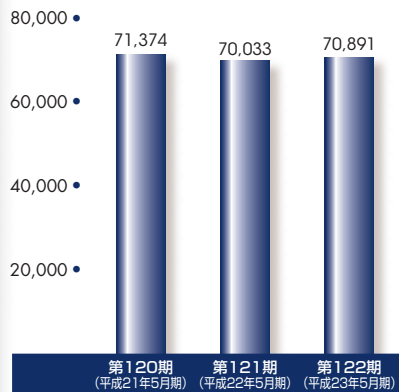
車両関連では、九州新幹線の内装材受注等により、新車向けの受注は前期を上回ったものの、鉄道各社の安全対策投資の拡大や東日本大震災の影響によってリニューアル受注が冷え込んだため、全体では売上高、営業利益ともに前期を下回りました。

以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高350億3千7百万円(前期比4.4%増)、営業利益17億4千9百万円(同10.9%減)となりました。

業績の推移 (連結)

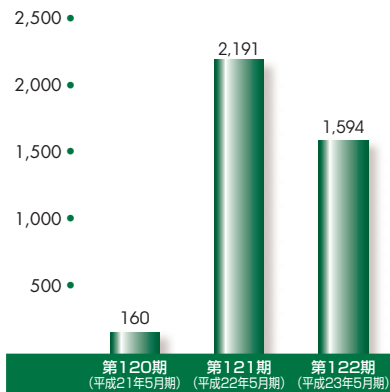
売上高

(単位: 百万円)



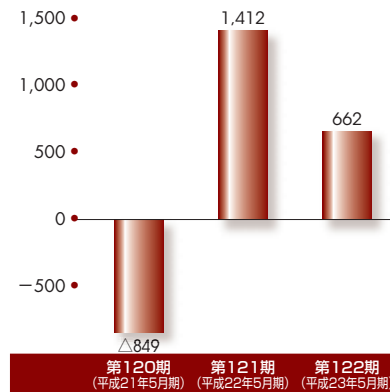
経常利益

(単位: 百万円)



純利益

(単位: 百万円)

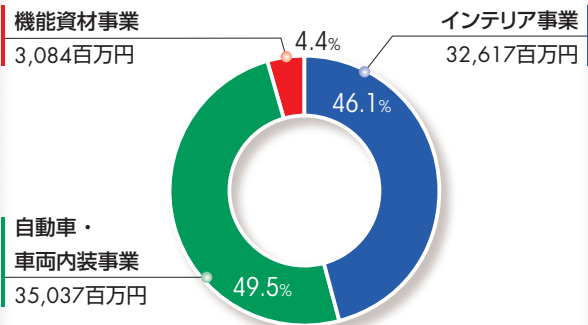


● 機能資材事業

ホットカーペット事業は、暖冬の影響により生産台数が減少し、円高と価格競争の激化から売上高、営業利益ともに減少しました。タイルカーペットのOEM事業は、国内市場では売上高がわずかに増加しましたが、輸出では微減となったため、全体では前期並みとなりました。利益面では円高と原材料の高騰が影響し、減益となりました。消臭フィルター事業では、一般家庭向け置き型消臭商品「香りでごまかさない本当の消臭」が順調に売上高を伸長し、家電用フィルター生産も拡大しました。

以上の結果、機能資材事業の売上高は30億8千4百万円（前期比12.8%減）、営業損失4千3百万円（前期営業利益17百万円）となりました。

事業セグメント売上高



■ 配当について

株主のみなさまへの利益還元を重要な経営課題と位置付け、安定的な配当と業績の動向を勘案しながら、適正な成果の配分を実施いたします。この基本方針のもと、期末配当につきましては、2011年5月期業績を踏まえ、1株につき2円50銭とし、中間配当とあわせて年5円の配当とさせていただきます。今後も事業業績に応じた安定的な配当を行っていく所存ですのでなにとぞよろしくお願い申し上げます。

■ 取り組んでいる課題

◆自動車内装事業の海外供給体制の強化を加速

自動車内装事業の海外での供給体制の強化を図るため、2011年5月期には、インドにSuminoe Teijin Techno Krishna India Private Limitedと中国に住江織物商貿(上海)有限公司を設立、また、持分法適用関連会社であったタイのT.C.H.Suminoe Co.,Ltd.と中国の蘇州住江小出汽車用品有限公司を連結子会社化いたしました。おりからの円高進行に加え、東日本大震災の影響によって自動車の海外現地生産が加速するなか、当社もより一層グローバル化を推進し、グループ会社の連携強化を図りながら、当社ならびにスミノエ テイジン テクノ株式会社を機軸とした、世界市場での柔軟な供給体制を構築してまいります。

◆中期経営計画について

2010年6月より中期経営計画“Challenge 2012”をスタートいたしました。東日本大震災の発生によって初年度数値目標を大幅に下回り、2年目にあたる2012年5月期の前半も同震災の影響を免れない状況となっております。このようななか、その前提となる市場環境も大きく変化していることから当計画を中断し、2013年5月期を初年度とする3

2012年5月期の見通しについて

半年計画を改めて策定し、発表させていただきますので、なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

◆循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS (エコス)」製造ラインを導入

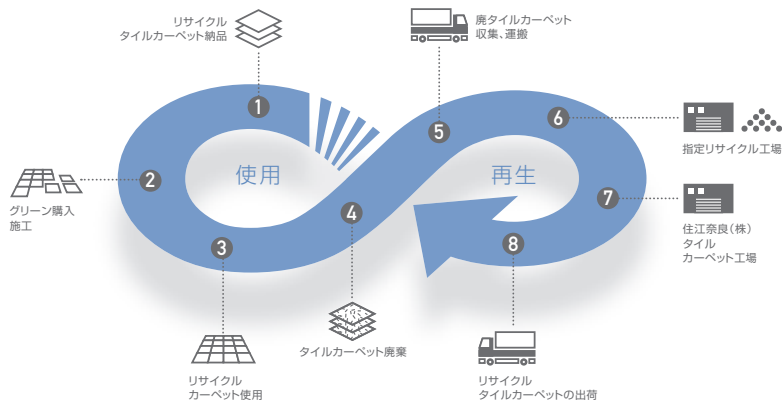
循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS」の製造ラインを住江奈良株式会社に導入しました。「ECOS」は、回収した使用済みタイルカーペットを画期的な製法によって再資源化し、新たなタイルカーペットとして再生・販売、使用後に再び回収を行う、独自の循環モデルにより誕生しました。ポストコンシューマ再生材（市場から回収した廃材をもとにした再生材料）の使用比率を最大で77%まで高めた、エコマーク基準を大幅に上回る他に類を見ない製品です。今後、製造・販売していく全てのタイルカーペットを「ECOS」に切り替えていく予定で、「資源を未来へ」をキーワードに、グループ全社で環境負荷の少ない商品作りに取り組み、サステナブル社会の構築に貢献してまいります。

東日本大震災によるサプライチェーンの分断から立ち直りつつあるものの、電力不足も影響し、製造業を中心にいまだ完全な復興には至っておらず、加えてギリシャ財政危機といった欧州の経済不安や米国の景気停滞など、先行きは非常に不透明かつリスクを含んだ状況にあります。このような状況を踏まえ、2012年5月期見通しを売上高740億円、営業利益13億円、経常利益16億円、当期純利益8億5千万円とし、今後も、各事業において的確で迅速な状況判断と機動的な経営を行い、目標達成に向け努力してまいります。

株主のみならず皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

使用済みタイルカーペットから、パッキング材を製造します。

ECOS Recycle System



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当 期 (平成23年5月31日現在)	前 期 (平成22年5月31日現在)	科目	期別	当 期 (平成23年5月31日現在)	前 期 (平成22年5月31日現在)
【資産の部】				【負債の部】			
流動資産		39,409	40,827	流動負債		30,578	30,352
現金及び預金		8,247	8,284	支払手形及び買掛金		14,335	15,334
受取手形及び売掛金		17,260	18,676	短期借入金		12,567	10,196
有価証券		274	774	その他		3,675	4,821
たな卸資産		10,587	10,071	固定負債		14,197	15,781
その他		3,084	3,078	長期借入金		3,478	5,157
貸倒引当金		△44	△58	再評価に係る繰延税金負債		5,445	5,445
固定資産		33,468	33,556	退職給付引当金		3,527	3,417
有形固定資産		26,259	25,233	その他		1,746	1,761
建物及び構築物		4,001	4,238	負債合計		44,776	46,134
機械装置及び運搬具		2,708	2,148	【純資産の部】			
土地		18,376	18,273	株主資本		18,774	18,495
その他		1,174	572	資本金		9,554	9,554
無形固定資産		376	357	資本剰余金		2,652	2,652
投資その他の資産		6,831	7,965	利益剰余金		6,898	6,614
投資有価証券		4,315	5,199	自己株式		△329	△325
その他		2,717	3,021	その他の包括利益累計額		6,482	7,388
貸倒引当金		△200	△254	その他有価証券評価差額金		△81	496
資産合計		72,877	74,383	繰延ヘッジ損益		△37	△19
				土地再評価差額金		7,185	7,184
				為替換算調整勘定		△583	△272
				少数株主持分		2,844	2,365
				純資産合計		28,101	28,249
				負債・純資産合計		72,877	74,383

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

COMMENTS

■ 資産の部

資産の部につきましては、前期末に比べ15億5百万円減少し、728億7千7百万円となりました。

流動資産は主に売上債権が減少したことにより14億1千7百万円の減少となりました。

固定資産は主に時価評価により投資有価証券が減少したことにより8千8百万円の減少となりました。

■ 負債の部・純資産の部

負債の部につきましては、前期末に比べ13億5千7百万円減少し、447億7千6百万円となりました。主に仕入債務が減少したことによるものです。

純資産の部につきましては、前期末に比べ1億4千8百万円減少し、281億1百万円となりました。主に当期純利益により利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金および為替換算調整勘定が減少したことによるものです。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当期	前期
		(平成22年6月1日から 平成23年5月31日まで)	(平成21年6月1日から 平成22年5月31日まで)
売上高		70,891	70,033
売上原価		54,755	54,007
売上総利益		16,136	16,025
販売費及び一般管理費		14,952	14,219
営業利益		1,184	1,806
営業外収益		810	820
受取利息及び配当金		113	106
不動産賃貸料		240	238
持分法による投資利益		97	155
その他		358	319
営業外費用		400	435
支払利息		232	240
不動産賃貸費用		59	72
その他		107	121
経常利益		1,594	2,191
特別利益		72	403
特別損失		372	354
税金等調整前当期純利益		1,294	2,240
法人税、住民税及び事業税		268	566
法人税等調整額		191	95
少数株主損益調整前当期純利益		834	—
少数株主利益		172	166
当期純利益		662	1,412

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

COMMENTS

■ 連結損益計算書

売上高はインテリア事業、機能資材事業は減収となったものの自動車・車内装事業は増収となり、前期比8億5千8百万円増加の70億8千9百万円となりましたが、営業利益は前期比6億2千2百万円減少の1億8千4百万円となりました。

経常利益は前期に比べて5億9千7百万円減少の1億9千4百万円となりました。

当期純利益は特別損失として東日本大震災に伴う災害による損失1億3千5百万円を計上したこと等により、前期比7億5千万円減少の6億6千2百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当期	前期
		(平成22年6月1日から 平成23年5月31日まで)	(平成21年6月1日から 平成22年5月31日まで)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		2,479	2,547
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		△1,044	△745
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		△2,105	240
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額		△67	△6
V. 現金及び現金同等物の増減額		△737	2,035
VI. 現金及び現金同等物の期首残高		8,564	6,529
VII. 現金及び現金同等物の期末残高		7,827	8,564

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

COMMENTS

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前当期純利益12億9千4百万円に対し、仕入債務の減少14億2千1百万円による減少等があったものの、減価償却費11億6千4百万円、売上債権の減少19億3千万円等により24億7千9百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出8億4千7百万円および投資有価証券の取得による支出1億1千3百万円等により10億4千4百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは社債の償還による支出13億円、リース債務の返済による支出5億1千9百万円等により21億5百万円の支出となりました。

資源を未来へ 循環型リサイクルタイルカーペット『ECOS』発売

当社と株式会社スミノエは、住友商事株式会社、リファインパース株式会社の4社で共同開発したリサイクル原料の比率を大幅に高めたリサイクルタイルカーペット『ECOS（エコス）シリーズ』の製造を開始し、タイルカーペットにおける資源循環の実現を目指します。

『ECOS』の特長は、①エコマーク基準を大幅に上回る最大で77%のポストコンシューマ再生材使用、再生材は材料由来を明確にし、安全性も確保。②CO₂削減率は、みずほ情報総研株式会社によるライフサイクルアセスメント評価にて、最大43%の削減率（当社従来品比）を達成。③コストアップになりがちなりサイクル品を従来品と変わらぬ価格経済性を実現。

廃棄タイルカーペットの回収⇒再資源化⇒リサイクルタイルカーペット製造・販売⇒使用⇒回収…と『ECOS』は、「資源を未来へ」をキーワードに、エコバリューチェーンを成立させたタイルカーペットです。

2011年7月15日に第一弾として10マーク、186アイテムを発売し、2011年中には製造・販売するタイルカーペットを全量、『ECOS』に切り替えを行い、企業における環境への対応が求められる状況下、この事業を通じてサステナブル社会の構築に貢献してまいります。



「ディズニーホームシリーズ」新発売

2011年4月21日に「ディズニーホームシリーズ」を発売しました。従来のキッズテイストのイメージを一新し、25~40代をメインターゲットとした大人の空間に合う、おしゃれで洗練されたディズニーキャラクターをモチーフに既製カーテン、ラグ&マット、クッションカバーを展開。植物柄やオーナメント柄にミッキーシルエットをあしらったモダンデザインなどディズニーの世界観を反映した新しい魅力のファブリックを取り揃えました。子供部屋に限らず、リビングを中心に寝室など幅広い空間にご使用いただけます。



©Disney

高密度トリコット トヨタ「プリウスα」に採用

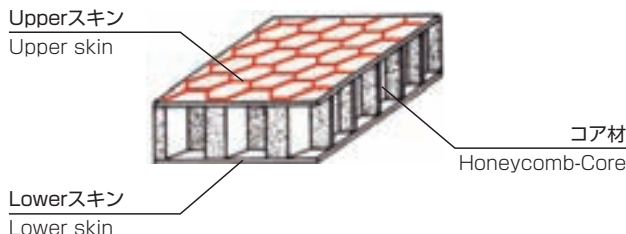
環境対応車「プリウス」には、当社のスエード調ファブリックが採用されております。さらにミニバンタイプである「プリウスα・Sグレード」にも、緻密で繊細な上質感とスムーズな感触が認められ、カーシート用ファブリックスにもこれまでなかったハイゲージ編機を使用するなど、最先端技術を駆使したファブリックが採用となりました。



難燃性ハニカム構造体「スミハニカム」の開発

当社は、岐阜プラスチック工業株式会社と共同で、鉄道車両用材料燃焼試験で「難燃性」を取得した樹脂製ハニカム構造体を開発しました。当社が自動車・鉄道車両内装材の開発で培った難燃化の技術を岐阜プラスチック工業が持つ超軽量・高剛性の樹脂ハニカム構造体に活かし、「難燃性」の取得に成功しました。「難燃性樹脂ハニカム構造体」は従来難燃化が難しいとされるポリプロピレン樹脂を使用。ハニカム構造体に最適とされる難燃処方を開発し樹脂に施すことにより、ハニカム構造自体の物性を下げることなく、高いレベルでの難燃性を得ることになりました。また、同じ剛性を持つ他の素材と比べ、重さが鉄の1/7、アルミの1/3であり、軽量化によるCO₂削減効果が得られます。また、汎用的に使用されているポリプロピレン樹脂であることからリサイクルも容易であり、環境性能が高く、従来から要望の多かった「難燃性」の付与により、鉄道、バスなどの輸送機器分野への適用が可能となります。

●難燃性ハニカム構造体



納入実績

スズキ スイフト
シート表皮材 (ジャカード)



山陽・九州直通新幹線「みずほ」「さくら」
内装材 (モケット・カーテン・スミキューブ®)



小倉記念病院
ホスピタルカーテン



大阪新阪急ホテル宴会場
別注カーペット



路線バス (阪急バス)
表示フィルム (OHフィルムB)



青垣保育園
アート緞帳



三原赤十字病院新築工事
空気を洗う壁紙®



インドネシア Mandiri Bank
タイルカーペット



企業データ

■ 会社の概要 (平成23年5月31日現在)

本 社

大阪市中央区南船場3-11-20

大阪支店

大阪市中央区南船場3-11-20

東京支店

東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田ビル

奈良事業所

奈良県生駒郡安堵町大字窪田634-1

大阪事業所

大阪府松原市大堀1-5-8

滋賀事業所

滋賀県甲賀市甲賀町神保53-5

京都美術工芸所

京都市上京区新町通今出川上る元新在家町167-2

合資会社創立 大正2年12月25日

株式会社設立 昭和5年12月26日

資 本 金 9,554,173,950円

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
大阪証券取引所 市場第一部

従 業 員 数 245名 (連結 2,349名)

■ 主要な事業内容

<インテリア事業>…カーペット、カーテン、壁紙、
各種床材 等

<自動車・車両内装事業>…自動車・バス・鉄道車両・航空機等の
内装材

<機能資材事業>…ホットカーペット、消臭関連商材 等

■ 主要なグループ企業 (平成23年5月31日現在)

○ 国 内

株式会社スミノエ

インテリア製品の企画・販売

ルノン株式会社

壁紙を中心としたインテリア製品の
企画・販売

住江物流株式会社

インテリア製品の保管・加工

スミノエ テイジン テクノ
株式会社

自動車内装材の製造・販売

住江奈良株式会社

カーペットの製造・加工

住江甲賀株式会社

スミトロン糸の製造、不織布の加工

○ 海 外

Suminoe Textile of
America Corporation

米国
自動車用内装材の製造・販売

住江互太（広州）汽車
繊維製品有限公司

中国
自動車用内装材の製造・販売

蘇州住江小出汽車用品
有限公司

中国
自動車用内装用品の開発・製造

住江織物商貿（上海）
有限公司

中国
自動車・車両内装材および部品の企画
開発・製造管理・卸売業・輸出入業務

蘇州住江織物有限公司

中国
ホットカーペットの製造

T.C.H.Suminoe Co.,Ltd.

タイ
自動車用内装材の製造・販売

Suminoe Teijin Techno
Krishna India Private Limited

インド
自動車内装材の販売

PT.Sinar Suminoe
Indonesia

インドネシア
自動車用内装材の製造・販売

株式関連情報

役員 (平成23年8月26日現在)

取締役および監査役

〔代表取締役〕	社 長	吉 川 一 三
〔代表取締役〕	○常務取締役	吉 田 伸 次
	○常務取締役	増 川 敏 和
	○常務取締役	谷 原 義 明
	○常務取締役	川 端 省 三
	○取締役	北 野 泰 朗
	○取締役	飯 田 均 進
	社外取締役	監 物
	常勤監査役	巽 立 誠
	社外監査役	足 山 一 三 男
	社外監査役	山 辺 一 三 男

執行役員

上席執行役員	浦 川 徹
上席執行役員	三 村 善 英
上席執行役員	國 中 聡 明
上席執行役員	西 山 啓 博
執行役員	松 本 全 博
執行役員	沢 井 克 之 彦
執行役員	小 瀧 邦 博
執行役員	植 村 博

○の取締役は上席執行役員を兼務いたします。

株式の状況 (平成23年5月31日現在)

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式総数	76,821,626株
株 主 数	6,668名

大株主

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社高島屋	9,249	12.24
日本生命保険相互会社	6,272	8.30
丸 紅 株 式 会 社	3,665	4.85
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	2,428	3.21
株式会社みずほコーポレート銀行	2,345	3.10
トヨタ自動車株式会社	2,240	2.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託ユニチカ口)	1,788	2.37
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,742	2.31
住 江 織 物 共 栄 会	1,714	2.27
住 江 織 物 従 業 員 持 株 会	1,527	2.02

(注) 1.持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2.持株比率は自己株式(1,271,621株)を控除して計算しております。

▽本報告書、株式に関するお問い合わせ先

住江織物株式会社 本社総務部
TEL:06-6251-6801 FAX:06-6251-0862

株主メモ

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日まで

定時株主総会 毎年8月

基準日

定時株主総会 毎年5月31日

期末配当金 毎年5月31日

中間配当金 毎年11月30日

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324（フリーダイヤル）
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

公告方法 電子公告
（当社ホームページ <http://suminoe.jp/ir/> に掲載）
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する。

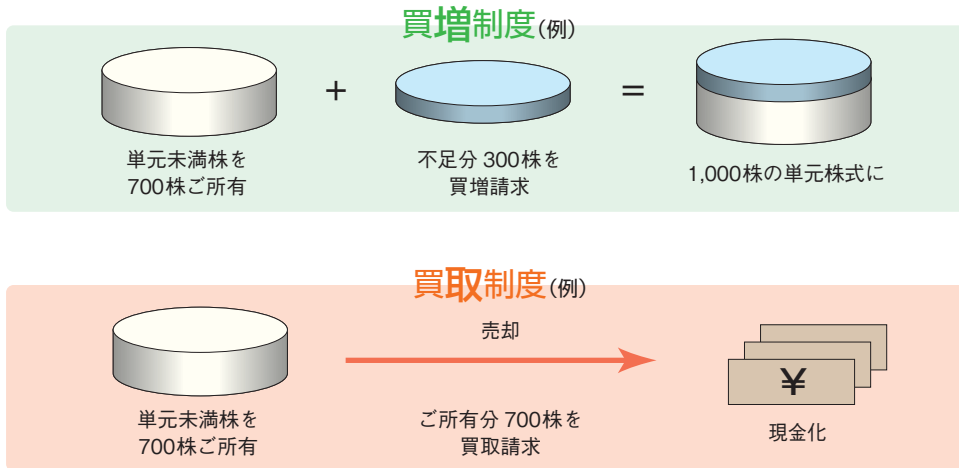
単元株式数 1,000株

株式事務に関するご案内

1. 単元未満株式の買増・買取制度のご案内

当社では、単元株式（1,000株）に満たない株式の買取を行う「単元未満株式買取制度」のほか、単元株式（1,000株）に不足する株式を買い増し、単元株式としていただくことができる「単元未満株式買増制度」を導入しておりますのでご活用ください。

お手続きにつきましては、左記のお問い合わせ先フリーダイヤルにお申し出ください。



2. 特別口座について

特別口座では、株式のご売却はできません。

証券会社に口座を開設いただき、お持ちの株式を当該口座に振り替えていただきますと、株式のご売却が可能となるばかりでなく、お持ちの株式の管理や株式に関するお手続きも当該証券会社で一括して行えるようになり便利です。



※インキは環境負荷の小さな植物油インキを使用しています。